

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和5年第51週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 3 例。5 類感染症：梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	胸痛
4類	つつが虫病	都城	40歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	70歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、四肢腰筋肉痛
		日向	80歳代	女	—	発熱、発疹
5類	梅毒	都城	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
			50歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
		延岡	50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,584 人(定点当たり 72.2)で、前週比 88%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 222 人(3.8)で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。延岡(9.4)、小林(6.3)、日向(4.8)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

##### 【インフルエンザ】

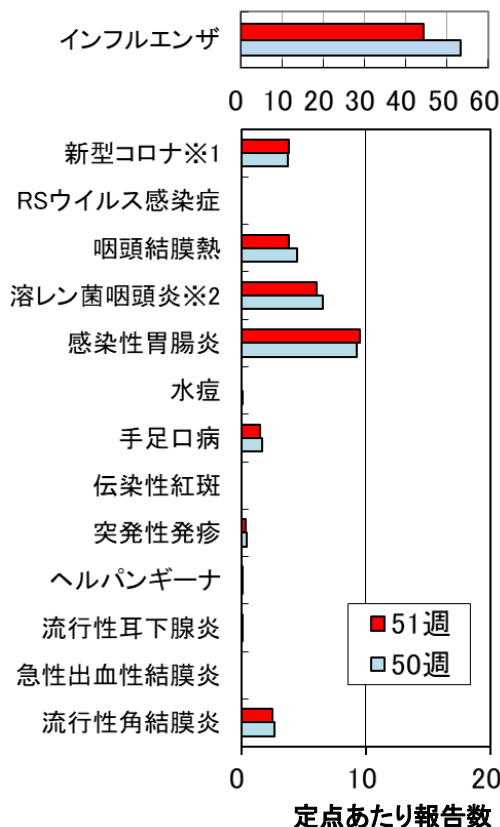
報告数は 2,577 人(44.4)で、前週比 83%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.0)の約 8.9 倍であった。延岡(91.0)、中央(77.5)、高鍋(58.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

##### 【咽頭結膜熱】

報告数は 139 人(3.9)で、前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.73)の約 5.3 倍であった。中央(10.0)、都城(7.3)、延岡(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 6 歳が全体の約 9 割を占めた。

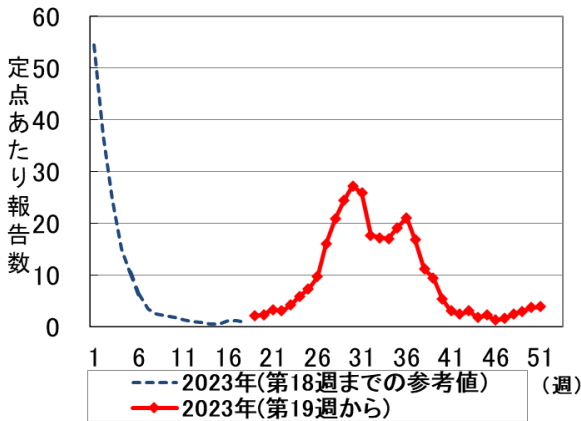
\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

### 《前週との比較》

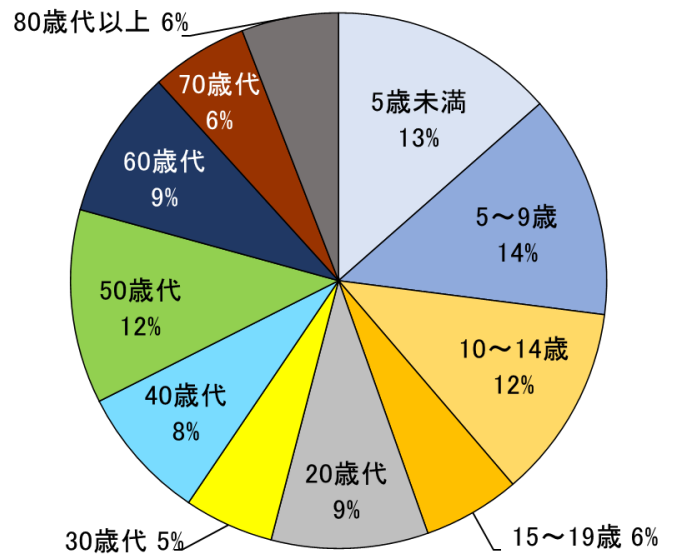


※1 新型コロナウイルス感染症  
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

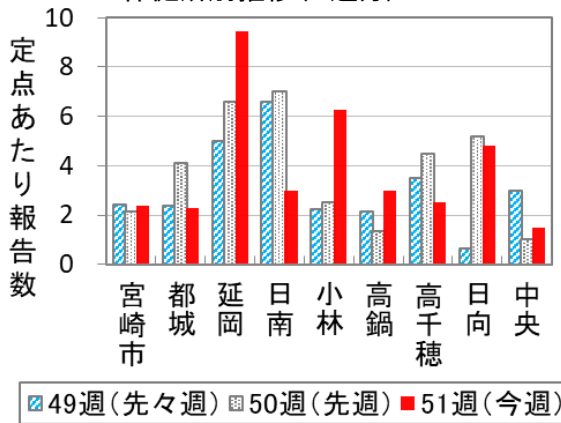
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第51週)

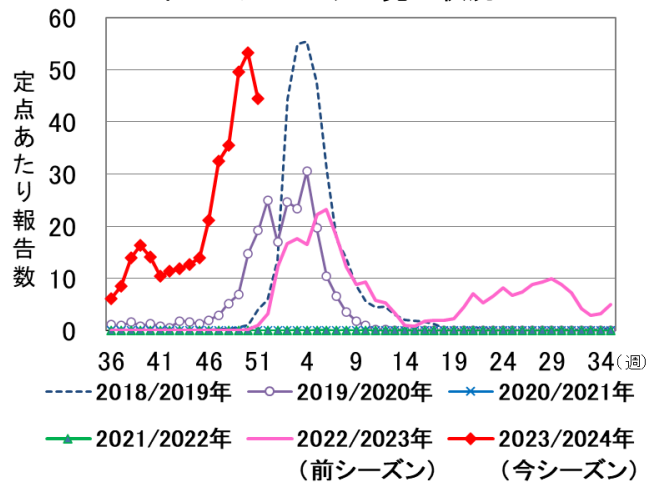


新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

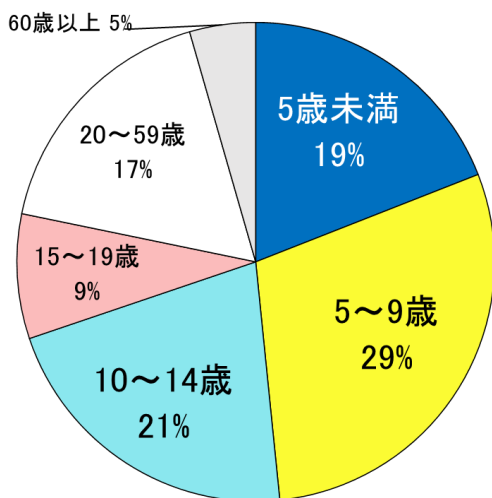


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

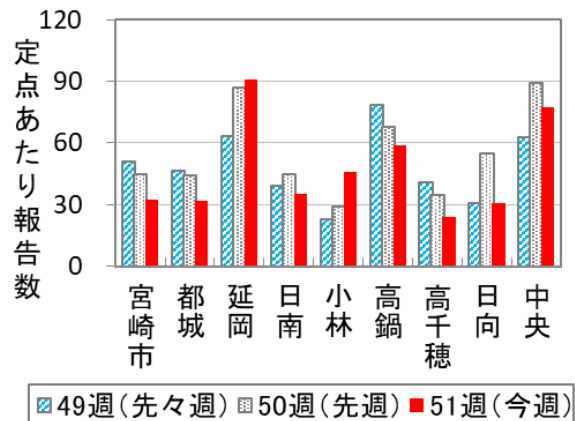
インフルエンザ 発生状況



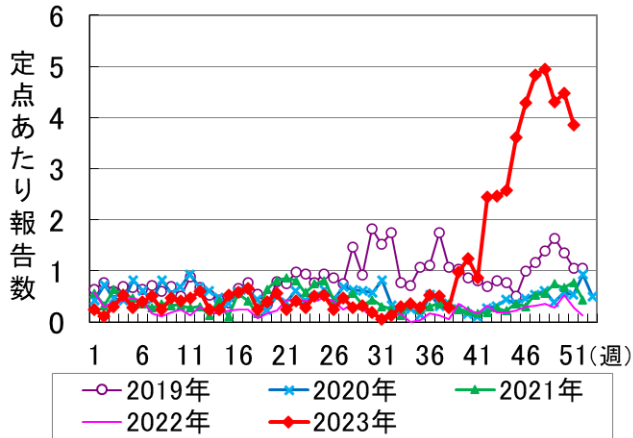
インフルエンザ年齢群別グラフ(第51週)



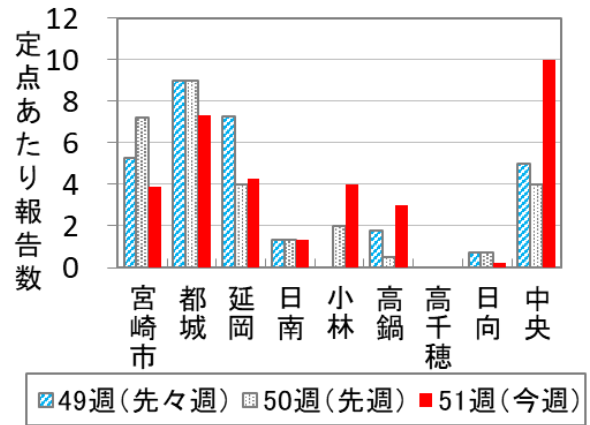
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



咽頭結膜熱 発生状況



咽頭結膜熱 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(32.3)、咽頭結膜熱(3.9)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3)
都城	インフルエンザ(32.1)、咽頭結膜熱(7.3)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.2)
延岡	インフルエンザ(91.0)、咽頭結膜熱(4.3)
日南	インフルエンザ(35.4)、感染性胃腸炎(20.7)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
小林	インフルエンザ(46.0)、咽頭結膜熱(4.0)
高鍋	インフルエンザ(58.7)、咽頭結膜熱(3.0)
高千穂	インフルエンザ(24.0)
日向	インフルエンザ(31.0)
中央	インフルエンザ(77.5)、咽頭結膜熱(10.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

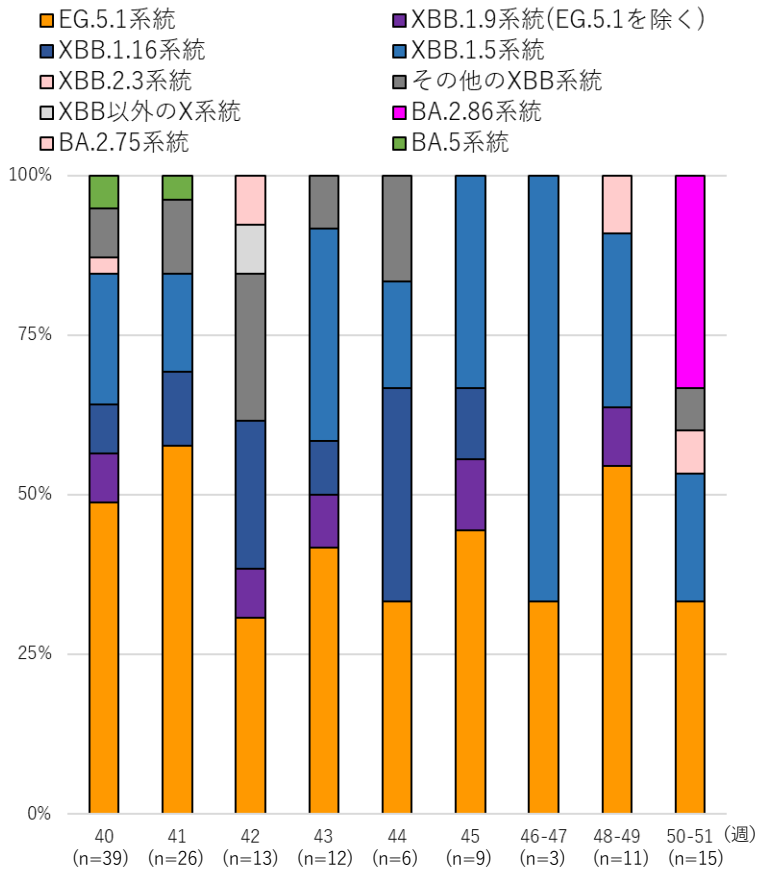
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

## □新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



第50-51週でBA.2.86系統が約33%、XBB系統は約67%を占め、EG.5.1系統(XBB.1.9.2の子孫株)が約33%を占めている。

BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1(BA.2.10.1系統)／BM.1.1.1(BA.2.75.3系統)の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

## ✚ 全国 2023 年第 50 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	268 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	40 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	2 例
	回帰熱	1 例	ジカウイルス感染症	1 例	つつが虫病	34 例
	デング熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	35 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例	水痘(入院例)	5 例
	梅毒	207 例	播種性クリプトコックス症	6 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	19 例	風しん	1 例
	麻しん	1 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 95%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及び水痘で、減少した主な疾患はインフルエンザとヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 147,858 人(29.9)で前週比 89%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(4.1)の約 7.3 倍であった。大分県(55.2)、宮崎県(53.3)、宮城県(49.1)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 20,511 人(4.2)で前週比 118%と増加した。山梨県(9.6)、北海道(9.3)、長野県(8.5)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第51週(12月18日～12月24日)

疾病名		第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3089	2577	517	321	637	177	184	352	48	186	155
	定点当り	53.26	44.43	32.31	32.10	91.00	35.40	46.00	58.67	24.00	31.00	77.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	216	222	38	23	66	15	25	18	5	29	3
	定点当り	3.72	3.83	2.38	2.30	9.43	3.00	6.25	3.00	2.50	4.83	1.50
RSウイルス感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	161	139	39	44	17	4	12	12		1	10
	定点当り	4.47	3.86	3.90	7.33	4.25	1.33	4.00	3.00	0.00	0.25	10.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	237	217	83	55	22	27	1	6		15	8
	定点当り	6.58	6.03	8.30	9.17	5.50	9.00	0.33	1.50	0.00	3.75	8.00
感染性胃腸炎	報告数	335	343	113	56	15	62	49	14		29	5
	定点当り	9.31	9.53	11.30	9.33	3.75	20.67	16.33	3.50	0.00	7.25	5.00
水痘	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	59	54	24	9	3	4	1	4		5	4
	定点当り	1.64	1.50	2.40	1.50	0.75	1.33	0.33	1.00	0.00	1.25	4.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	14	3	3	2		2	4			
	定点当り	0.42	0.39	0.30	0.50	0.50	0.00	0.67	1.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2			1						1
	定点当り	0.06	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	15	6	8	1						
	定点当り	2.67	2.50	2.00	4.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～51週保健所受理分)

2類感染症	結核	107例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	12例
	日本紅斑熱	14例	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			つつが虫病	30例(3)
			レプトスピラ症	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	173例(3)
			百日咳	5例

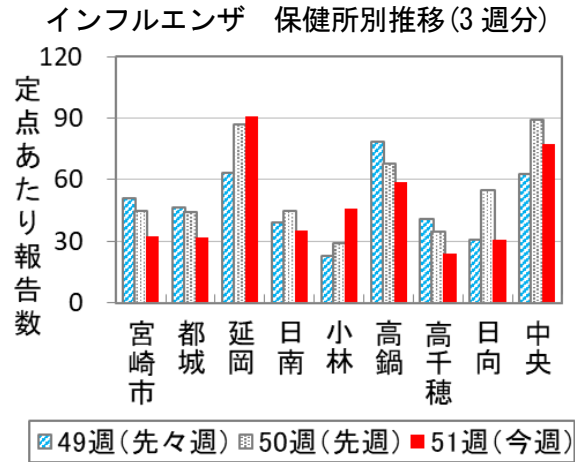
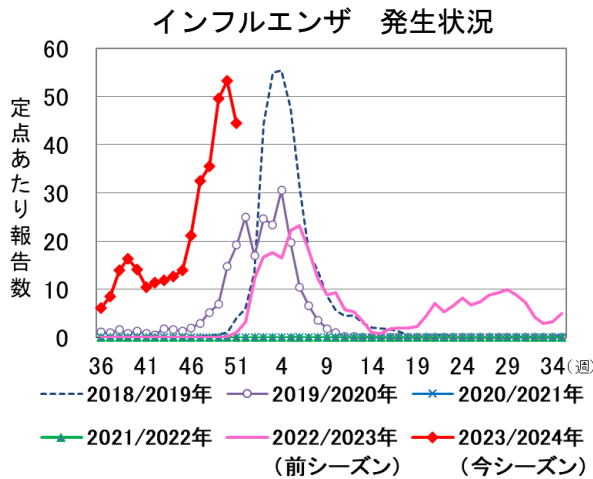
( )内は今週届出分、再掲

## インフルエンザ情報《県内第51週、全国第50週（再掲）》

### □ 県内第51週インフルエンザ発生動向

12月18日～12月24日までの1週間で2,577人(44.4)の報告があった。前週比83%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*(5.0)の約8.9倍であった。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

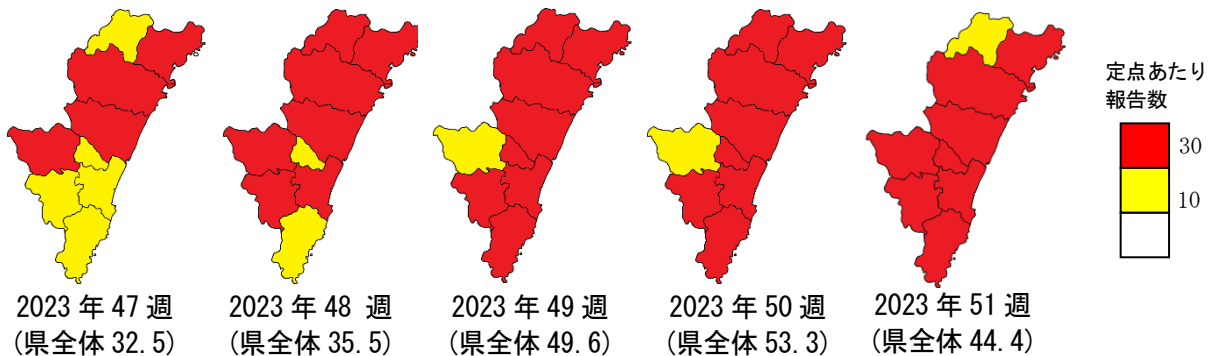


年齢群別割合の推移(2023年第47週～第51週)

年齢群	51週	50週	49週	48週	47週	
2,577人 51週	19%	29%	21%	9%	17%	5%
3,089人 50週	17%	33%	24%	6%	15%	5%
2,879人 49週	19%	33%	24%	6%	15%	3%
2,059人 48週	19%	35%	23%	5%	15%	3%
1,885人 47週	15%	33%	28%	5%	16%	3%

□5歳未満 □5～9歳 □10～14歳 □15～19歳 □20～59歳 □60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第47週～第51週



### □ 全国第50週インフルエンザ発生動向

12月11日～12月17日までの1週間で147,858人(29.9)の報告があった。前週比89%と減少し、大分県(55.2)、宮崎県(53.3)、宮城県(49.1)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の16%、5-9歳が30%、10-14歳が22%、15-19歳が7%、20-59歳が21%、60歳以上が4%であった。